
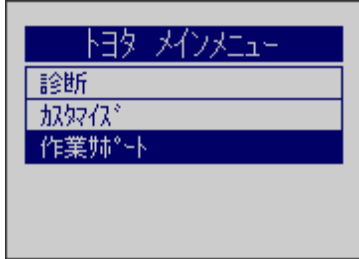

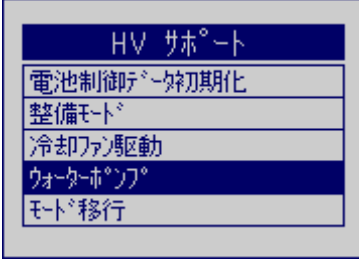
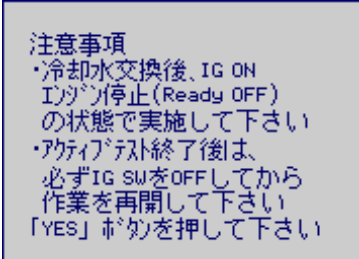


# プリウス α の冷却液（インバータ用） 取替方法 (ZVW40 型系)

1.	エンジンカバーを取り外します。
2.	インバータカバーを取り外します。
	火傷の危険を避ける為、冷却液（インバータ用）が熱い状態の時は、インバータカバーを外さないで下さい。
	排出した冷却液は回収して容量を測定し、補充時に同容量以上補充された事を確認して下さい。
3.	図の位置のドレンプラグを外し、冷却液を抜き取ります。 
4.	新品のがasketを介して、ドレンプラグを取り付けます。 <b>基準値 : T=39N・m (398kgf・cm)</b>
5.	ドレにより抜き取った冷却液量を測定します。
6.	インバータサブタンクより冷却水を補充します。 <b>■参考■ インバータ用冷却液全容量 : 2.7L</b>
7.	イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM1000 を車両に接続します。
8.	シート位置 P ポジションであることを確認し、イグニッションスイッチを ON にします。(ブレーキペダルを踏まずに、パワー(イグニッション)スイッチを 2 回押します)
9.	[ 診断 ] を選択します。 

10.	[ TOYOTA ] を選択します。 
11.	[ 作業ポート ] を選択します。 
12.	[ HV ] を選択します。 
13.	[ ウォータポン ] を選択します。 
14.	注意事項を確認し、[ YES ] ボタンを押します。 
	整備モードにいれることでも、ウォータポンを作動させることができます。
15.	インバータサブタンク FULL 付近で水位を保つように冷却水を補充しながら、ウォータポンを約 1 分間作動させ、その後 1 分間停止させます。  左右矢印ボタンの操作で、ウォータポンを [ ON ][ OFF ] します。




**基準：3 回程度作業を繰返し、「ウォーターポンプの作動音が小さくなる」および「インバータリザーブタンクから覗いて気泡が出なくなる」の状態になれば、冷却水のエア抜きは完了です。**

**■参考■**

- ・ウォーターポンプは空転が約 5 秒続くと保護回路が働き、約 15 秒間停止します。冷却水が補充されると自動復帰します。
- ・インバータリザーブタンクに冷却液を補充しすぎると、ポンプを停止させた後、冷却水があふれることがあります。


**16.** エア抜きが完了したら、インバータリザーブタンクの FULL まで冷却水を補充し、インバータリザーブタンクを取り付けます。

 ・回収量以上の冷却水が補充された事を確認して下さい。  
 ・冷却水系統にエアが混入した状態で走行した場合、ターボチャージが記憶されることがあります。

**17.** [ NO ]ホワを何度か押し、[ トヨタメニュー ]まで戻ります。

**18.** クレジットスイッチを OFF にします。

**19.** TPM1000 を車両から外します。

 冷却液の漏れがないことを確認して下さい。

**20.** エンジンカバーを取り付けます。